

Rice Lodge Ohgata

提携米通信

2012年10月号・黒瀬農舎



稲刈りが始まりました。

今年は、本田前半まで低温で悩まされましたが、その後6月下旬から8月20日頃まで、日中の気温は高く、夜温は低いという植物の成長にとって理想的な天候に恵まれました。

おまけに、湿度も低くて、病気や害虫の発生がほとんどなく、台風襲来がなければ「今年は大大豊作！」とお盆頃には、期待

が膨らんでいました。

ところがその後、9月も20日まで観測史上では例のない酷暑が連日続きました。

9月17、18日には最高気温が35℃を超える、北国秋田では8月でも記録のない猛暑となりました。

「夏暑ければ豊作」とは言っても、この暑さでは、稲はくたびれてしまいます。お盆頃に抱いた期待は、大きな心配に転じて収穫期を迎えました。

いま稲刈りを始めたばかりですが、粒がやや小さめようです。でも、平年作は確保できたのではないかと一安心しているところです。

ところで、福島原発事故後の初収穫の年であった昨年、当地は、事故現場から300Km以上離れていたことに加えて、事故時期が冬型の大陸高気圧の強い季節風の風上に位置していたので、被爆は名古屋以西並という幸運でした。でも、念のため放射性セシウムについての綿密な検査を行いました。

ゲルマニウム半導体検出器による1ベクレルを検出限界とした精密検査の結果は、Cs-134、Cs-137共に検出されませんでした。（検出限界以下）

今年の新米も、検査用として早刈りした「あきたこまち玄米」の1検体については、すでに9月末にゲルマニウム半導体検出器による精密検査を終えました。

結果は、昨年同様に検出されませんでしたので、どうぞご安心ください。

今後、モチコメ、黒米についても、各品種毎の籾摺り作業が出来次第に、玄米の確認検査を行い、その結果はHPに公表するとともに、次の通信でもお知らせします。

今回のお米より新米になります。どうぞ賞味ください。

なお最近のお米は、新米でも水加減を特に減らす必要はないようです。いつものようにお好みで水の加減をお願いします。

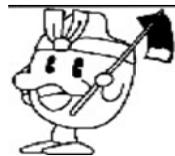
提携米 黒瀬農舎

〒010-0445

秋田県南秋田郡大潟村西1丁目4の7

ライスロッジ大潟 代表 黒瀬 正

TEL:0185-45-3088 FAX:45-2887



E-mail: akita@kurose.com Web:

提携米 黒瀬農舎

検索

異常気象と有機栽培

表にも取り上げましたが、今年の夏は観測史上例のない、ほとんど雨のない、酷暑が続きました。

作物の栽培は、どんなに手をかけても、冷害、台風、大雨などで大打撃を受けるので、お米作りはいつも天候が気になります。

湿度が多い日が続いた。春の気温が高かった。あるいは夏に気温が上がらなかったなどで、気象による作物への直接被害がなくとも、この気象の間接的な影響で、病気や害虫が多発して、大被害が及ぶこともあります。

このような気象による間接被害は、普通の一般栽培の場合、各種農薬の開発で最近ではほとんど、防げるようになってきました。

昔の農薬は、病気や害虫が出る気象状況になったり、病気や害虫が出始めたら農薬を散布していましたが、現在では、種蒔きや田植えの時に、予め強力な粒状の農薬を施用し、常に稲体を農薬漬けにしておく技術が中心になっています。

さらにすごいのは、稲の収量を高めるには、化学肥料などで稲に栄養を多くやる必要があります。

栄養過多にすると、稲の背丈が伸び、雨や風で収穫前に稲は倒れます。

現在の農薬の中には、栄養過多にしても、稲の背丈が伸びないホルモン剤系などの農薬が使われることも多い状況です。

ところが、私たちのように農薬に頼らないお米作りを行っている時は、このような農薬の力を借りる対策は一切できませんので、何年に一度かは、一部の田んぼで大きな被害を受けることがあります。

今年も夏から秋にかけて、記録的な猛暑が続きました。でも、今年の異常気象は、幸いにも病気や害虫の発生を呼ばなかったのが喜んでいるところです。

さて異常気象関連ですが、話は変わります。

上の写真は、我が庭のダリアです。

花径20センチを超える超大輪のダリアを咲かせて毎年楽しんでます。

数年前に、郷里滋賀の古い友人夫婦が来られ、ダリアに興味を示されたので、嬉しくなって、翌年超大輪のダリアの球根をプレゼントしました。

ところが、うまく育たなかった。と報告がありました。

この友人の奥様は、花の栽培など上手のようだったし、ダリアの栽培は、特別なコツも必要ないので、疑問におもっていました。

この疑問は、今年やっと解けました。

我が家のダリアも今年は、例年の数分の1の樹勢です。

ダリアの原産は、冷涼なアンデス地方。本来の秋田の気候とピッタリです。

ですので我が庭では、毎年素晴らしい花だったので。

暖地の滋賀でもダリアは栽培できますが、やはり育ち方が違うようです。

左の写真は、我が家の孫たちです。恒例の「秋のご案内」用の写真撮影で田んぼに出動した時のスナップです。



悠真 (5歳) 花穂 (3歳) 志穂 (1歳) 3人の孫で毎日賑やかです。 (2012.9.26撮影)